

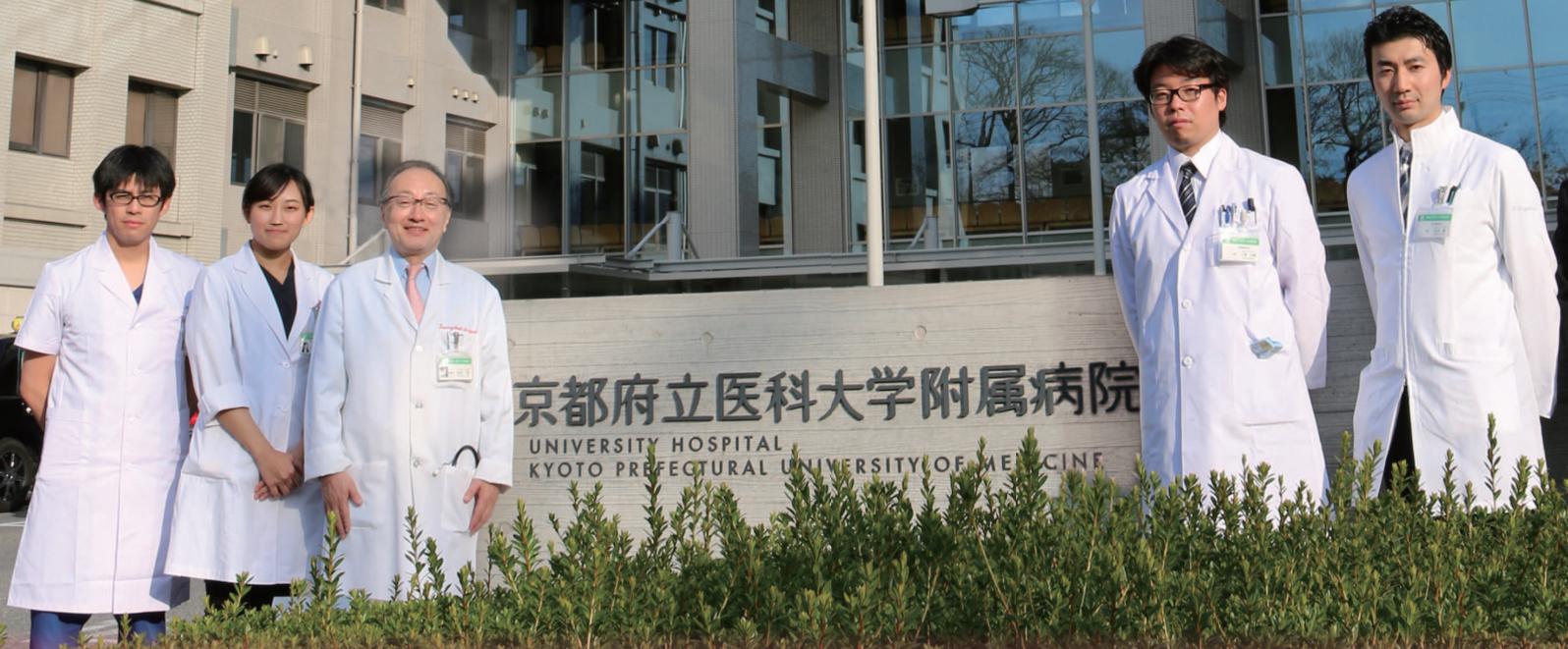


# かまがわ

第20号  
2017.1

ご挨拶

1. 特集／新春座談会『若手医師と語るこれからの医療』～病院長×研修医・専攻医～
2. 診療科・中央部門紹介／薬剤部
3. トピックス／
  - ・両陛下が京都府立医科大学をご視察されました
  - ・日本女子プロ野球リーグ「京都フローラ」の選手が小児医療センターを訪れました
  - ・「京都府立医科大学附属病院 地域医療ネットワーク」を発足しました
4. 健康・予防の豆知識／くすりの豆知識、栄養の豆知識、病気の豆知識、臨床検査の豆知識
5. 病院からのお知らせ



京都府立医科大学附属病院  
UNIVERSITY HOSPITAL  
KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE

## 病院理念 世界トップレベルの医療を地域へ

### 基本方針

- 高度で安全な医療を提供します。
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん本位の医療を提供します。
- すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。
- 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。
- 京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

### 患者さんの権利

- 個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。
- わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。
- 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。
- セカンドオピニオン（他の医療機関等の意見）を希望される場合は、紹介を受けることができます。



# 「若手医師と語るこれからの医療」

## ～病院長×研修医・専攻医～

あけましておめでとうございます。



左から、山野医師、日置医師、吉村病院長、上野医師、水谷医師

新しい年が始まるに当たり、吉村病院長と研修医\*1・専攻医\*2で「これからの医療」をテーマに座談会を開催し、若手医師の考える医療への思いや当院への期待について語っていただきました。

### まずは、医師を目指したきっかけ、当院での研修・専攻内容について教えてください。

**上野:**祖父・父がともに医師で、幼い頃からその姿を見ていたため、人に感謝されるような仕事がしたいと思い、医師を目指しました。

今は、循環器内科で勤務していますが、急性期・慢性期両方の患者さんを診療することができ、また、治療することで劇的に回復する患者さんも多いため、やりがいを感じています。先輩の先生方は、よりよい治療のために、新しい医療機器を導入したり、TAVI\*3などの新しい治療を導入したり努力されているので、私も技術の習熟に努めていきたいと思っています。

**日置:**幼い頃、体が弱く、病院にかかることが多かったのですが、その病院の先生が府立医大の卒業生の方だったことから、府立医大で医師になることを選びました。研修医として勤務する病院を選ぶ際には、協力病院での研修も経験できる「たすきがけ研修」\*4に魅力を感じ、当院での研修を希望しました。

昨年度は、協力病院の救急医療の現場で研修をし、たくさんの症例を診ることができ、大変良い経験になったのですが、振り返って教えていただく時間や機会が少なかったように思います。当院では、一人ひとりの患者さんについて時間をかけて診たり、フィードバックしたりできるので、とても勉強になります。



専攻医 上野 大輔 医師  
大阪府出身。平成25年に滋賀医科大学を卒業。循環器内科勤務。趣味は音楽鑑賞。特技はサッカー



専攻医 水谷 融 医師  
京都府出身。平成22年に東海大学を卒業。消化器外科勤務。趣味・特技はテニス

### みなさんの考える当院のあり方やどのような病院であって欲しいか教えてください。

**水谷:**前期専攻\*5では、当院と同規模の病院で勤務しましたが、当院と診療内容に大きな差はありませんでした。大学病院でさまざまな症例を診療できることは、若手医師にとって貴重な経験になりますが、大規模な他の病院との役割分担について、今後考えていくべきだと思います。

**山野:**当直の際に、風邪などの軽症患者さんを診ることもありますが、他の大学病院では、そのような経験ができないという話を聞いたことがあります。さまざまな経験ができるのも、当院の魅力の一つだと思います。

**荒田:**大学病院として、高度で専門的な疾患の治療を担うこととともに、府民のための病院として地域へ医療を提供することも重要な役割ですね。

- \*1 研修医：医師国家試験合格後、2年間の初期臨床研修を受けている医師。
- \*2 専攻医：2年間の初期臨床研修終了後、専門医をめざすため専攻する科（部）で専門研修を受けている医師。
- \*3 TAVI：血液の通過できる面積が狭くなった心臓の大動脈に対して、カテーテルで人工弁を体内に運び、狭くなった大動脈の代わりに取り付ける治療法。カテーテルで治療することで、開胸手術より入院日数が短くなり、早く元の生活に戻るメリットがある。
- \*4 たすきがけ研修：当院で実施している初期臨床研修のプログラム。研修医は、大学病院である当院と地域第一線の協力病院を組み合わせた研修で、医師としての総合力・基盤を培うことができる。
- \*5 前期専攻：初期臨床研修を終了した医師（通常、卒後3年目）が受ける研修。前期専攻医同等の課程を修了した医師の受ける研修を後期研修という。

## チーム医療やコメディカルとの連携も重要ですが、どのように感じているのか教えてください。

**上野:**看護師は、患者さんと近い関係にあると思いますし、担当医が知らないことを看護師が知っていることもあります。当院には、心不全専門の看護師もいて、助けられることもよくあります。また、「ハートチームカンファレンス」では、医師や看護師、リハビリ技師などが一つのチームとなり、患者さん一人ひとりについてどのような治療が最良なのか考えています。

**日置:**先日、家庭で療養されている患者さんのケアを行う訪問看護師と話す機会があり、「患者さんは、医師の前ではしっかりしないといけないと思ってしまい、病院で、自分自身の状態を正しく伝えられないことがある」と聞きました。病棟を回るときは、看護師から直接話を聞いたり、記録を見たりしますが、外来でも、事前に患者さんの記録を見るようにしないとけない、と思いました。



研修医 日置 麻里 医師  
兵庫県出身。平成 27 年に京都府立医科大学を卒業。趣味は旅行。マイブームはジム通い

## 当院の役割の1つである地域医療について自身の考えを教えてください。



研修医 山野 暁生 医師  
和歌山県出身。平成 27 年に和歌山県立医科大学を卒業。趣味・特技は釣り

**水谷:**数ヶ月間ですが、担当科に医師が2名しかいない病院で勤務したことがあります。自分たちでできることをしっかりこなして、診療に当たっていましたが、どうしても難しい症例の場合は、近くにおられる当院関係の先生方に協力してもらうことで、乗り切ることができました。

**日置:**当院の医師が地域の医療機関に派遣されることがありますが、同じ患者さんを長期間診ることが難しくなるので、地域で働くコメディカルと連携し、情報共有する必要があると感じました。

**山野:**そうですね。同じ地域に派遣される医師同士も連携し、患者さんの視点に立った地域医療をみんなで守っていくことが大切だと思います。

## みなさんの今後の目標や医師像について教えてください。

**上野:**今はたくさんの先生方に教えていただいています。一人でも診療できるように力をつけていきたいと思っています。将来は、患者さんの生活にしっかり入り込んで診療できる医師を目指しています。

**水谷:**今後、他の病院で働く機会があれば、1人でもしっかり手術ができるように、先生方からさまざまなことを学んでいきたいと思っています。

**日置:**今後の目標としては、まず来年度から皮膚科での研修が始まるので、一人前の皮膚科医に早くなれるよう頑張りたいです。将来の目標としては、キャリアアップとともにプライベート面も充実させていきたいので、子育て支援など両立に向けたサポートをお願いします。

**吉村:**当院には、ワーク・ライフ・バランスを推進するために、さまざまな制度があり、院内保育所や短時間勤務を導入していますし、研究活動を支援するためのサポートもしています。関連のセミナーも開催しているので、ぜひ参加して役立ててください。

**山野:**来年の目標としては、周りの人に助けられながらも、なんとか一人前に診療ができるようになりたいと思っています。将来は、後輩を指導する機会も増えるので、しっかり指導できるよう勉強していきたいです。



荒田 事務部長  
(司会)

## 次代を担う若手医師のみなさんへ



吉村 病院長

**吉村:**本日は、みなさんの意見を聞かせていただき、ありがとうございました。私は、当院を患者さんから選ばれる病院にしたいと思っています。どんな病気でも診る。これが当院の姿勢です。一方で、高度な医療を必要としている患者さんを診ることも、大学病院としての大切な役割であり、すべての患者さんに満足していただけるよう努めています。「上手くて、早くて、確実」。私たちは、患者さんに医療を提供するに当たって、この3つを大切にしないとけません。

また、当院は、大学病院としてレベルの高い教育にも力を注いでいます。先輩から後輩へ教えていく屋根瓦方式の仕組みがあるのも、当院の魅力です。さらに、大学病院の役割には、臨床研究と基礎研究\*6があります。臨床研究は、どのような立場にいても自らの考えで実践できるということを忘れずに今後も活躍してください。そして、みなさんと協力して、新しい時代に応じた病院を創造していきたいと思っています。みなさんも研修や専攻を通して、何か困ったことがあればいつでも頼ってください。当院は、研修医にも専攻医にも優しい病院です。

\*6 臨床研究と基礎研究：臨床研究とは、治療や診断などを目的として、人に対して行われる医学研究。一方、基礎研究とは、学術的な知識や理論の発見などを目的とした医学研究。



薬剤部では、基本業務を担う6つの部門とチーム医療への参画により、安心・安全で良質な薬物療法が行われるよう支援しています。



## 調剤室

- 経口薬や外用薬の調剤
- 注射薬のセット
- 用法や相互作用等の確認

## 医薬品情報室

- 医薬品情報の収集と発信
- 問い合わせへの対応
- 持参薬の鑑別と処方提案

## 薬剤管理指導室

- 患者さんへの服薬支援
- スタッフへの情報提供
- 薬効の評価と処方提案

## 製剤室

- 抗がん剤の無菌調製
- 中心静脈栄養の無菌調製
- 院内製剤の調製

## 薬務室

- 院内全体の医薬品在庫コントロール
- 医薬品の発注・検収

## 検査・試験室

- 薬物血中濃度測定
- 治療的薬物モニタリング
- 院内製剤の品質検査

## 患者さんへの メッセージ



薬剤部では、近年の医療技術の高度化や医療ニーズの多様化に対応するために、基本業務の充実やチーム医療への参画により、薬物療法の有効性の担保や安全性の確保に努めています。

さらに、院内の医療スタッフのみならず、保険薬局の薬剤師とも連携して、より良い医療の実現をめざしています。



## 両陛下が京都府立医科大学をご視察されました！



10月26日(水)、天皇后両陛下が当大学をご訪問され、世界最先端の再生医療の研究をご視察されました。

当大学では、角膜の再生に関する研究に取り組んでおり、両陛下は二つの研究室を回られ、研究の様子を見学されました。両陛下は当大学の木下茂特任教授らの説明に熱心に耳を傾けられ、最後に陛下から、「本当に多くの人に救いをもたらすでしょうね。本当にご苦労さまでした」とお言葉をいただきました。

左から、木下特任教授、両陛下、外園教授



## 日本女子プロ野球リーグ「京都フローラ」の選手が小児医療センターを訪れました！

11月16日(水)、日本女子プロ野球リーグ「京都フローラ」の選手のみなさんが患者さんの回復を願い、小児医療センターに慰問に訪れました。

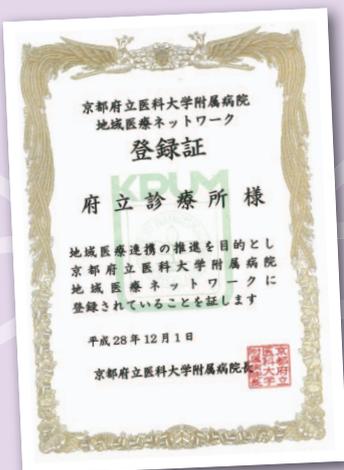
子どもたちは、ストラックアウトをして一緒に遊んだり、写真撮影やサイン会を通して交流を深めることができました。選手のみなさんは、子どもたちを励まし元気づけてくださり、子どもたちもきらきら輝く笑顔を見せていました。



## 「京都府立医科大学附属病院 地域医療ネットワーク」を発足しました！

高度な医療を地域のみなさんに提供できるよう、地域の医療機関と医療連携の更なる強化を図り、互いが有する医療機能を活用し、医療連携を円滑に行うことを目的として「京都府立医科大学附属病院 地域医療ネットワーク」を発足しました。

これまでに登録いただいた578の医療機関に、左記のネットワーク登録証を送付するとともに、当院ホームページにてご紹介しております。(登録医療機関の希望により掲載していない医療機関があります。)



# 健康・予防の豆知識

## くすりの 豆知識

薬剤部 連載企画

### 第16回 お薬を“**節薬**”しませんか？



病院からもらった薬が余って、“もったいない”と思った事はないですか？

「節」の漢字には「度をこえないようにおさえる。ほどよくする。」という意味があります。節約を“節薬”に変えて、お薬を無駄にしないようにしませんか？

病院から処方された薬で、飲み残したり飲み忘れていたりして残っている薬を**残薬**と呼びます。平成20年の日本薬剤師会の報告によると、75歳以上の高齢者の残薬は年間推定でおよそ475億円あるとされています。

お薬が余ってしまう事があれば、主治医やかかりつけ薬局に相談してください。残薬調整やライフスタイルにあわせた服薬を考えてくれます。また、お薬代の節約にもなります。

気軽に主治医や薬剤師に相談してください。



## 栄養の 豆知識

栄養管理部 連載企画

### 第5回 気になる**食物繊維**のはなし

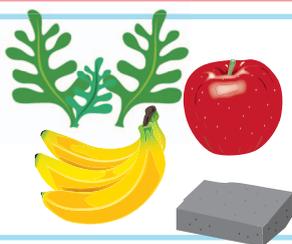
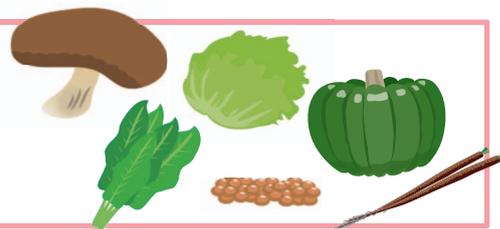
#### 食物繊維の働きを知っていますか？

食物繊維は、**不溶性食物繊維**と**水溶性食物繊維**に分けられ、働き方や効果に違いがあります。

##### 不溶性食物繊維

腸の働きを刺激し、腸内の有害物質の排出促進、便秘予防など腸に関する病気を抑制します

多く含む食品：穀類、豆類、野菜、芋類、きのこ など



##### 水溶性食物繊維

コレステロールや糖質の吸収を妨げ、血清コレステロールや血糖値の上昇をゆるやかにする作用があります（**脂質異常症**、**糖尿病**の予防効果）

また、乳酸菌などを増やし腸内環境を改善します

多く含む食品：果物、海藻、こんにゃく など

不溶性食物繊維と水溶性食物繊維を組み合わせることで、腸内環境の改善と脂質異常症や糖尿病などの生活習慣病の予防効果が期待されています。

「おばんざい」には食物繊維が豊富に登場します。ぜひ積極的に食卓に取り入れてみましょう！！

病気の  
豆知識

第6回 狭心症・心筋梗塞

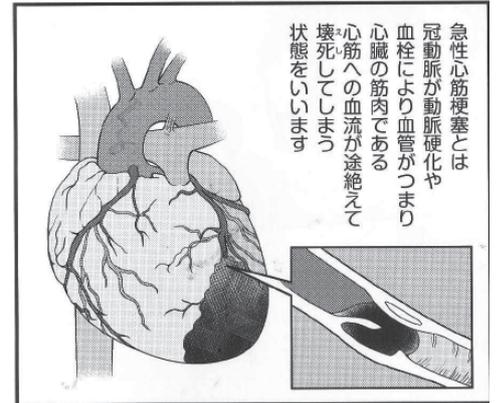
心臓の筋肉を栄養している血管＝冠動脈に閉塞や狭窄が起こり、心筋が壊死してしまう事を心筋梗塞、壊死にまで至らない状態を狭心症と言います。

主な症状は胸痛、息切れで、ほとんど無症状のものから、ショックに至るようなものまで様々です。なかでも突然の強い胸痛で発症する急性心筋梗塞は緊急に治療を要する状態となります。危険因子としては高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙等が良く知られています。

診断に際して、まずは心電図、心エコー等の侵襲を伴わないものから始めていきます。心筋シンチグラフィ、CTや心臓カテーテル検査等の精密検査も確定診断に重要になります。

治療に際しては、薬物療法、心臓カテーテル治療、冠動脈バイパス術等が選択されます。患者さんと十分に検討の上、最適な治療法を決定していきます。

この疾患は予防することが可能です。上記の危険因子を改善すれば罹患率を下げる事が可能です。また進行した病態でなければ、早期に低侵襲な治療が可能になりますので、早めの診断治療が大切になります。



臨床検査の  
豆知識

臨床検査部 連載企画

第11回 貧血と検査



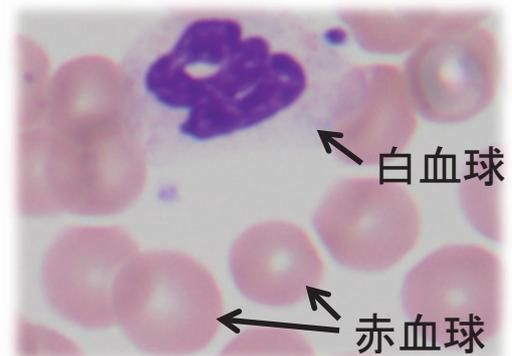
貧血になると、動悸、息切れ、倦怠感などの症状が起こります。

貧血とは、酸素を運ぶ役割を担う赤血球(RBC)やその中のヘモグロビン(Hb)という物質が減少し、からだに酸素不足になる状態です。

貧血の判断には、血液検査のヘモグロビン(Hb)濃度が参考になります。

貧血の定義(WHO基準)

性別	Hb (g/dL)
成人男性	13.0 以下
成人女性	12.0 以下



# 病院からのお知らせ

## (1) イベント・講座等開催予定

事項	開催日時	内容	参加費	申し込み先・問合せ先
1 第24回歯の健康講座	4月1日(土) 受付: 13:30~ 講演: 14:00~15:00 講演終了後: 歯周病 チェック(希望者のみ)	・講演 ・歯周病チェック(希望者のみ) ・相談コーナー ・歯ブラシ等の清掃グッズの展示	無料	歯科 西垣勝、山本健太、足立哲也 電話: 075-251-5043 (13:00-16:00) FAX: 075-251-5045
		会場		
		京都府立医科大学 基礎医学学舎1階	100名	

## (2) その他のお知らせ

事項	内容	問合せ先
1 ハローワーク京都西陣 による出張相談のご案内	がん治療を続けながら働きたいという方へ仕事に関するお悩みをハローワーク京都西陣の専門相談員が、皆様のご相談に応じます。 開催日: 毎月第一水曜日、第三金曜日 10:00~12:00(完全予約制) ご相談希望の方は、がん相談支援センターにお問い合わせください。	がん相談支援センター TEL: 075-251-5283

※ひだまりサロン及びひだまりサロン For Kids の開催については、本院のホームページでご確認ください。

(問い合わせ先 がん相談支援センター TEL: 075-251-5283)

PICK UP!!

## オープンホスピタル 2016 を開催しました!

ご参加・ご協力をいただいた  
みなさん、ありがとうございました



9月22日(木・祝)、「オープンホスピタル 2016」を開催し、たくさんの府民の方にご参加いただきました。

当院での開催は初めて。オープニングでは、吉村病院長から「府民の健康を守り、皆様に愛される病院となるため、全スタッフが日々精進していることを知っていただき、当院を身近に感じていただきたい」と、開催の趣旨について説明がありました。

さまざまな企画はどれも大盛況で、参加された多くの方から笑顔をいただき、地域のための医療をさらに推進するべく、病院スタッフ一同、気持ちを新たにしました。



**休診日** 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

**初診受付時間** 午前8時45分から午前11時まで

※再診受付時間は、各診療科にお問い合わせください。

敷地内は全面禁煙としております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

次回  
平成29年5月  
発行予定



京都府立医科大学附属病院

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465  
電話: 075-251-5111 (代表)  
HP: <http://www.h.kpu-m.ac.jp>